

診断 開始

施設を対象に省エネ化の改善提案などを行うもので9月4日まで参加申請、8日までに提案書を受け付ける。事業者は9月

る調査・分析、コンサルタ
ント業務の実績などを履
行期限は10年2月27
日。

県は結果を基に、省エ

募集要項などはホームページに掲載。資料の提出、問い合わせ先は総務部財産活用課財産管理グループ(電話0776・20・0251)。



東海建設、竹内貴弘
▽名東区本郷一丁目地
内ほか下水道築造工事
大栄建設、辻貴
▽呼続ポンプ所主ポン
プ設備工事 日立ブラン
トテクノロジ、吉田栄

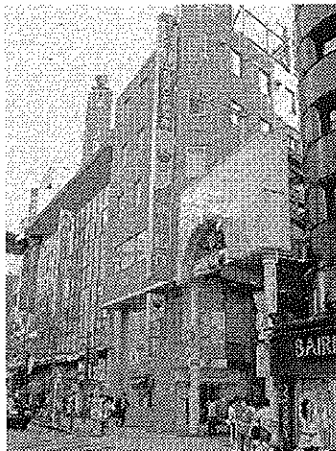
首都圏

本社編集局
電話 03-3433-7161

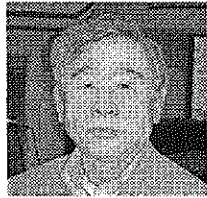
横浜支社
〒231-0007
横浜市中央区弁天通2丁目
34番地(ホリビル)
電話 045-201-3821
FAX 045-201-3825
yokohama@decn.co.jp

関東支社
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂
2丁目15番地19号(A2ビル)
電話 048-829-2851
FAX 048-832-4976
kanto@decn.co.jp

千葉総局
〒260-0013
千葉市中央区中央3丁目
5番地7号(千葉中央
ハイビル306)
電話 043-222-4036
FAX 043-222-4038
chiba@decn.co.jp



再開発が検討される二番街商店街



石戸理事長

JR柏駅東口近くの商店街振興組合「柏二番街一丁目地区まちづくり推進協議会」(千葉県柏市柏1の4の5、石戸新一郎 駅前にある二番街商店街

を中心とした約3・7畝の区域を対象に、再開発を本格的に検討していくための推進母体となる。協議会では、中小企業基盤整備機構から講師を招いて勉強会を開き、街づ

柏二番街商店会

街づくりへ推進協

柏駅東口再開発を検討

再開発が検討される二番街商店街

を中心とした約3・7畝の区域を対象に、再開発を本格的に検討していくための推進母体となる。協議会では、中小企業基盤整備機構から講師を招いて勉強会を開き、街づ

くりの事業手法や、商店街の再開発で成功を収めた高松市の丸亀商店街の事例などを研究。それらの成果を踏まえ、10年3月までに街づくりの方向性をまとめた考えだ。

対象地は、二番街アーケード(44店舗が立地)をはじめ、丸井バット館三井住友銀行が入る「さくらビル」、新生銀行が入居する「京北ビル」、日興コーディアル証券柏支店ビル、野村証券柏支店ビル、JTBが入る藤川ビルなどが集積する地区。関係権利者数は土地・建物所有者が約50人、テナントなどの権利者が約300社。同地区では、常陽銀行などの跡地約0・86畝で柏駅東口D街区第1地区再開発事業が先行して動きだしており、組合設立に向けて事業計画や資金計画を煮詰めている。

柏駅東口地区は1973年に再開発で一度整備された経緯がある。36年が経過しビルの老朽化が目立つほか、景気後退を反映して中心街で一部空き店舗も出始めるなど、街としての活力低下が危ぶまれている。首都圏内で柏市がこれまでの価値を失わず、今後も繁栄を続けていくためには再び再開発を行い、魅力的な街に再生する必要があると判断し、協議会を立ち上げて街づくりを本格的に検討することにした。

協議会の設立総会は同日、柏市内で開かれた。推進協の設立準備委員長で設立発起人の一人となっていた柏二番街商店会

の石戸新一郎理事長が会長に選任された。石戸会長は「中心市街地活性化法の援助が受けられる11年度末までに、計画エリア内の1〜2カ所で再開発を具体化させたい」と抱負を語った。

計画地近くの空き店舗には風俗関連の出店も出始めている。協議会では、再開発を検討している約

3・7畝のエリアを対象に、建築物の形態や用途規制など街づくりの細かなルールを定める地区計画の導入に向けた検討に乗り出す。地区計画の決定には地権者の9割以上の賛同が必要で、石戸会長は「12年3月までに地権者の同意を得たい」と話している。

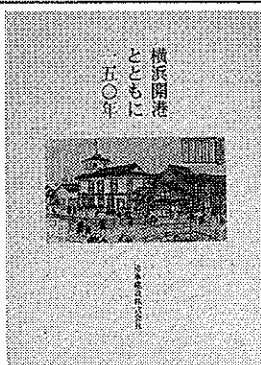
太田市

環境共生型住宅

須田建築計

群馬県太田市は、太田市21世紀環境共生型住宅設計者選定プロポーザルの結果を公表した。1次審査を通過した5者の公開ヒアリングを12日に行

清水建設横浜支店史「横浜開港とともに一五〇」



清水建設は、横浜支店の歩みや施工作品などを集めた支店史「横浜開港とともに一五〇年」を刊行した一写真。

横浜支店は、創業者の清水喜助が1859年に横浜が開港されると聞き、坂下町(現在の横浜スタジアムと県庁の間付近)に店を構え、戸

同社の歴史やエピソードなど紹介

部村外国奉行所や野毛坂陣屋前役宅、戸部村石崎関門など幕府の開港準備工事を請け負ったのが始まり。1883〜1892(明治16〜25)年には「横浜店」を本店としていた時代があるなど、同社にとって横浜はゆかりの深い地でもある。

支店史では、横浜開港とともに歩んできた同社の歴史やエピソードなどを紹介。さらに、施工作品として、居留地で手がけた土木工事や、大正時代に約8年だけ存在し「幻の駅」と呼ばれる二代目横浜駅、「ジャックの塔」の愛称で親しまれる横浜市開港記念会館、ア

列島ワイド

名古屋市上下水道局 優秀施工者を表彰



東海建設、竹内貴弘
▽名東区本郷一丁目地
内ほか下水道築造工事
大栄建設、辻貴
▽呼続ポンプ所主ポン
プ設備工事 日立ブラン
トテクノロジ、吉田栄